

# 50種類以上のがんを 1回の血液検査で スクリーニング<sup>1</sup>

Galleri<sup>®</sup> 検査が患者さんの生活にどのような変化をもたらしているかについては、こちらをご覧ください

[Galleri.com/stories](https://galleri.com/stories)



実際の患者さん

要処方箋

## 推奨されるスクリーニング検査があるのは5種類のがんのみです

乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肺がん（リスクのある人）、前立腺がん<sup>10</sup>

Galleri 検査は50種類以上のがんをスクリーニングします<sup>1</sup>。がんのスクリーニング検査に Galleri 検査を追加することで、がんを早期に発見できる確率が高くなります<sup>7,8</sup>。



約  
**70%**

約70%のがんでは、  
推奨されるスクリーニング  
検査はありません<sup>9+</sup>

## がんスクリーニングの 先制的ツール

がんはいつでも、症状が現れる前であっても発生する可能性があります。Galleri 検査では、検査を受けるたびに血液サンプル中のがんシグナルを探します。

Galleri 検査は年1回受けることができます。これは遺伝のスクリーニング検査ではありません。また、将来のがん発症の遺伝的リスクを予測するものでもありません。

## Galleri 検査はどのような 人を対象としますか？

- 50歳以上の人など、がんのリスクが高い成人。

この検査は、妊娠している人、22歳未満の人、がんの積極的治療を受けている人には推奨されません。

## 年齢は、がんの最大のリスク 因子です<sup>11</sup>

50歳以上の人では、50歳未満の人と比べてがんの発症リスクが13倍も高くなります<sup>12</sup>。

年齢に加えて、特定の要因によりがんのリスクが高くなります。例えば<sup>13,14</sup>：

- がんの既往歴
- 糖尿病
- 肥満
- 喫煙者、または喫煙歴

## 検査の仕組み

Galleri 検査では、がん細胞から放出されたDNAを検出するために、血液サンプル（採血管2本分）が必要となります。

がんシグナルが検出された場合、検査結果には、がんが体内のどこで発生している可能性が高いかを予測するがんシグナルの発生源も含まれます<sup>1</sup>。これにより、がんを確認するための不要な手技（画像検査や生検など）を最小限に抑えることができます<sup>2</sup>。

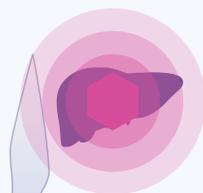


詳細はこちらを  
スキャンして  
ください

！ **がんシグナルを  
検出**



！ **がんシグナルの  
発生源**  
肝臓/胆管



# 検査の過程

## 検査の依頼

医療提供者を通じて依頼  
要処方箋



## 採血を実施

- クリニックで
- GRAIL 提携の検査機関で  
こちらでご予約ください  
[Galleri.com/schedule](https://Galleri.com/schedule)



## 結果の受領

GRAIL ラボラトリーが血液  
サンプルを受領してから約  
2 週間後

2 週間経過後も結果が届かない場合は、GRAIL から  
メールでその旨をお知らせします（検査依頼書に  
メールアドレスが提供されている場合は、その  
メールアドレスに送信されます）



## Galleri 検査では 50 種類以上のがんをスクリーニングします<sup>1</sup>

これらのうち 12 種類は悪性度の高いがんであり、がんによる死亡の  
3 分の 2 を占めています（米国がん協会による）<sup>1</sup>。これらのがんは  
DNA をより多く放出するため、「がんシグナルを検出」の結果が出る  
可能性が高くなります<sup>1</sup>。

- ・ 肛門がん
- ・ 膀胱がん
- ・ 大腸 / 直腸がん
- ・ 食道がん
- ・ 頭頸部がん
- ・ 肝臓 / 胆管がん
- ・ 肺がん
- ・ リンパ腫
- ・ 卵巣がん
- ・ 膵臓がん
- ・ 形質細胞腫瘍
- ・ 胃がん

## その他のがんの種類<sup>3</sup>

- ・ 副腎皮質がん
- ・ ファーター膨大部がん
- ・ 虫垂がん
- ・ 骨がん
- ・ 乳がん
- ・ 子宮がん
- ・ 胆嚢がん
- ・ 消化管間質腫瘍
- ・ 妊娠性絨毛性腫瘍
- ・ 腎臓がん
- ・ 喉頭がん
- ・ 白血病
- ・ 皮膚黒色腫
- ・ メルケル細胞がん
- ・ 悪性胸膜中皮腫
- ・ 鼻腔および副鼻腔がん
- ・ 上咽頭がん
- ・ 虫垂神経内分泌腫瘍
- ・ 膵神経内分泌腫瘍
- ・ 脳神経内分泌腫瘍
- ・ 口腔がん
- ・ 中咽頭がん（HPV 関連、p16 陽性）
- ・ 中咽頭がん（p16 陰性）および下咽頭がん
- ・ 陰茎がん
- ・ 前立腺がん
- ・ 小腸がん
- ・ 腹部および胸腔内臓器の軟部肉腫
- ・ 頭頸部の軟部肉腫
- ・ 後腹膜の軟部肉腫
- ・ 体幹および四肢の軟部肉腫
- ・ まれな組織像および部位の軟部肉腫
- ・ 精巣がん
- ・ 尿管がん、腎盂腎がん
- ・ 子宮がん、子宮がん肉腫
- ・ 子宮肉腫
- ・ 膣がん
- ・ 外陰部がん

感度はがんの種類やステージにより異なります。  
詳細は [Galleri.com/test-report](https://Galleri.com/test-report) をご覧ください。

## 検査結果には 2 通りの可能性があることをご理解ください

### ✔️ がんシグナルの検出なし

この結果は、血液サンプル中にがんに関連する DNA 断片が検出  
されなかったことを意味します。臨床試験に基づくと、この結果の出た人  
はがんである可能性が低いことが示されています。実際に、このような  
結果が出た人がんと診断されたのは、平均して 100 人中 1 人でした<sup>4</sup>。

**次のステップ:** 医療提供者が勧めるがんスクリーニングを引き続き受けてください。  
Galleri 検査はすべてのがんを検出できるわけではありません。がんによって  
血流中に放出される DNA 量は異なるため、検出されやすいがんと、  
そうでないものがあります。脳腫瘍、皮膚がん、早期の乳がんと前立腺がんでは、  
DNA がほとんど、または全く放出されないため、血液検査で検出される可能性  
は低くなります<sup>5</sup>。

### ❗️ がんシグナルを検出

これは血液サンプル中に、がんと関連することが多い DNA の断片が検出  
されたことを示します。この結果には、「がんシグナルの発生源」と呼ばれるがん  
シグナルに関連する組織型または臓器の予測も含まれます。

**次のステップ:** この結果はがんの診断ではなく、追加の診断検査（確定診断  
のために医療提供者がオーダーする臨床検査、画像検査など）が必要となります。

50 ~ 79 歳の人を対象とした臨床試験に基づくと、約 1% の人が「がんシグナルを検出」の検査結果を受け取ることが予想され、これには「がんシグナルの発生源」の予測も含まれます<sup>4</sup>。  
そのうちの約 62% の人が、診断評価後にはがんの診断が確定されると予測されます<sup>4</sup>。

## 次回の検査はいつ受けるべきですか？

悪性度の高いがんは、時には 1 年足らずの間に急速に発生して進行することがあります<sup>7,8</sup>。

年 1 回の健康診断の際に、推奨されるスクリーニング検査に Galleri 検査を追加することで、がんを早期に発見できる確率が高くなります<sup>8</sup>。

次回いつ検査を受けるのが最適については、医療提供者にご相談ください。



## HSA/FSA 適用対象です

対象となるかどうかは、健康保険プラン管理者にご確認ください。

Galleri 検査費用の支払いオプションについては、こちらをご覧ください:

[Galleri.com/cost](https://Galleri.com/cost)



メールによるお問い合わせ  
[customerservice@grail.com](mailto:customerservice@grail.com)



833-MY-GALLERI  
(833-694-2553)



QR コードをスキャンするか、[Galleri.com/brochure](https://Galleri.com/brochure) に  
アクセスして、パンフレットをご覧ください。こちらから  
他の言語版にアクセスしたり、コンテンツの参照文献一覧  
もご覧いただけます。

**安全性に関する重要情報:** Galleri 検査は、がんのリスクが高い成人（例えば 50 歳以上）  
への使用が推奨されます。この検査はすべてのがんを検出できるわけではありません。  
医療提供者が勧める通常のがんスクリーニング検査に追加して使用するべきです。  
Galleri 検査は、がんシグナルの検出と、そのシグナルが体内のどこにあるのかを予測  
することを目的としています。この検査の使用は、妊娠している人、21 歳以下の人、  
がんの積極的治療を受けている人には推奨されません。検査結果は、医療提供者が病歴  
や臨床徴候、症状を考慮して解釈すべきです。検査結果が「がんシグナルの検出なし」  
であってもがんではないと言い切れません。検査結果が「がんシグナルを検出」の場合は、  
医学的に確立された方法（画像検査など）で診断確認のための評価を行い、がんであると  
確定する必要があります。追加の検査でがんが確定されない場合は、がんが存在しないか、  
がんを検出するには検査が不十分であったことを意味します。体内の違う部分  
にがんがあるためということも考えられます。偽陽性（がんがないのにがんシグナルが  
検出された）と偽陰性（がんがあるのにがんシグナルが検出されなかった）の結果  
はどうしても起こります。**要処方箋。**

**検査施設 / 検査に関する情報:** GRAIL 臨床ラボラトリーは、1988 年に臨床検査室改善法  
(CLIA) の下に認定を受け、かつ米国臨床病理医協会 (CAP) の認可を取得しています。  
Galleri 検査は GRAIL により開発され、その性能特性は GRAIL により規定されています。  
本 Galleri 検査は、米国食品医薬品局 (FDA) の承認および認証を取得していません。  
GRAIL 臨床ラボラトリーは、臨床検査室改善法 (CLIA) の規制の下に高度に複雑な検査  
を実施しています。本 Galleri 検査は臨床的使用を目的としています。